

2020年4月9日(木)

老球の細道534号

選手の勧誘

会津バスケットボール協会 室井 富 仁

世にいう新型コロナ戦争の最中、新年度新学期がスタートした。緊急事態宣言の対象になった自治体や感染者が増加している地域では学校休校を継続しているところが多い。福島県でも毎日のように感染者が出ているが、運よく会津地区ではまだ出ていない。そのため私の勤務する会津大学では入学式が中止になったが、授業のほうは今日から普通にスタートした。全国の主なる大学がオンラインで授業をする中、会津大学は今のところ従来通り。体育の実技をオンラインで90分間授業する不安がなくなって安心した。

会津地区の小中高校も休校することなく新学期をスタートした。部活動もコロナ対策で色々制限のある中実施できるようになった。やる気満々の子どもたち、部顧問の先生達は改めてバスケットボールのできる日常のありがたさを身に染みて感じていることだろう。

さて、新学期は新入生が仲間入りする季節である。チームにどのような新入部員が入ってくるかは興味の対象である。優秀な新入部員をすでにリクルートしているチームは別であるが、ほとんどのチームは偶然の出会いを運命の出会いになるよう期待する。今の時期新入部員のリクルートは部にとって非常に重要なイベントとなる。私は現役コーチの頃、4月初めの「身体測定」では常に「身長測定」を希望して、長身の新入生にかたっぱしからバスケットボール部へ勧誘の悪魔の声掛けをしたものであった。

選手の勧誘はチーム強化に非常に重要である。昔「市邨短大」でインカレを制覇した名将「新井春生」先生は、著書『清らかな汗』の中で選手勧誘について、「試合に勝つためには、良い素材を集めるだけで、70%は成功である。残りの30%が指導上の問題であるから、よい素材を集めることが勝つための第一条件である」と述べている。

「良い素材」とは何か。①意欲を持っている②身長は技術である③脚力(身長がなかったら走力と跳力があればよい)の三つが重要だと言う。「身長測定」においても、初心者の中にダイヤモンドの原石を見つけることもあるので、このイベントを侮ってはいけない。

また、良い素材、選手の集まる条件についても述べている。①勝つチーム②良い人間関係がある。誰からも愛されるチームで先輩、後輩の友情はもとより、出身学校のコーチとの信頼関係もある③良いバスケット環境を作る。技術的な指導のみならず、将来のことまであらゆる配慮が必要④愛情をもって指導する。どんな選手でもチームのために何等かの貢献ができるよう、その可能性を十分発揮できるよう愛情をもって指導に当たる。また、若き日の感激をより多く作ることは人生にとって有意義なことである。最大の感激は勝つことであるが、大会、遠征等で時間を作って、名所旧跡を見学する余裕をもつことも大切である。

イスラム教祖マホメットが「山よ動け！」と大きな声で言ったが山は動かなかった。マホメットは自分のほうが山に近づいて行った。大切なものは、自分から取りに行くものである。